

評価細目の第三者評価結果

1 共通項目

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

I-1-1 理念、基本方針が確立されている。		第三者評価結果
	I-1-1-① 理念が明文化されている。	Ⓐ・B・C
	I-1-1-② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 保育理念として「保育に欠ける子どもの保育を行い、健全な心身の発達を図る」「子どもの最善の利益を考慮し、その福祉を積極的に推進する」「子どもの健やかな成長のために、適切な環境を与え、その心身の発達を助長する」の3つが明文化され、それに基づき、基本方針として「安心で安全な生活ができる環境を整え、自己発揮できる力を促す保育」、教育保育目標として「たくましくおもしろいのある子」「自分の思いを表現できる子」が明文化されている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
I-1-2 理念や基本方針が周知されている。		
	I-1-2-① 理念や基本方針が職員に周知されている。	Ⓐ・B・C
	I-1-2-② 理念に基本方針が利用者等に周知されている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 誰でも見れるよう玄関に掲示され、職員には年度初めの職員会で周知を図っている。クラス目標は理念や基本方針を基に作成され、達成できるよう努力されている。 家族に対しては年度初めのお便りで周知を図っている。</p>		
改善できる点／改善方法：		

I-2 事業計画の策定

I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		第三者評価結果
	I-2-(1)-① 中・長期計画が策定されている。	Ⓐ・B・C
	I-2-(1)-② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 中・長期計画については、地域の実態や小規模園の特性を踏まえ、3～5年後の園児数の見込みを盛り込み、設備等の改修計画や運営課題を把握した園全体を見渡した計画を策定している。 また中・長期計画に基づき、各分野の事業計画が策定されている。</p>		
改善できる点/改善方法：		
I-2-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
	I-2-(2)-① 事業計画の策定が組織的に行われている。	Ⓐ・B・C
	I-2-(2)-② 事業計画が職員に周知されている。	Ⓐ・B・C
	I-2-(2)-③ 事業計画が利用者等に周知されている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 事業計画は学期ごと、年度末に職員会議で意見を求め、計画の見直しを行っている。ニーズ把握のため、保護者には行事ごとのアンケートを実施し、様々な意見を反映させて立案している。 事業計画は、職員会議で話し合いの後に職員全員に文書配付して周知を図っている。 保護者等には、入園式後の保護者全員が出席する保護者会総会で計画の説明をしている。</p>		
改善できる点/改善方法：		

I-3 管理者の責任とリーダーシップ

I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。		第三者評価結果
	I-3-(1)-① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	Ⓐ・B・C
	I-3-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	A・Ⓑ・C
<p>良い点/工夫されている点： 園長はその役割を日吉幼稚園経営構想の文書提示や、会議、研修会にて職員に表明し、教育・保育に対する思いを説明している。小規模園なので、職員とは日頃から顔が見える関係であり、園長の意思はよく周知されている。保護者には入園式や各種行事等の機会を捉えての意見表明を行っている。</p>		

また、法令に関する研修会の参加等を通じて遵守法令の理解に努め、職員会議や職場内研修を通して職員への周知を図っている。	
改善できる点/改善方法： 法令遵守の観点から外部の研修等に参加しており、職員にはその都度、報告や説明をしているが、さらに関係法令を項目ごとに整理する等リスト化に向けた取り組みに期待する。	
I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	
I-3-(2)-① 質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。	Ⓐ・B・C
I-3-(2)-② 経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。	Ⓐ・B・C
良い点/工夫されている点： 保育の質や職員の資質の向上のため必要な環境の確保・整備に努めており、教育研究会に積極的に参加できるよう計画的に位置づけ指導している。また職員が記入する日誌にはなるべくコメントを書き込み、特に良かったことについて触れ、褒めるようにしている。 園長は職員のチームワークを重んじ、コミュニケーションの取れる関係づくりに努め、チーム一丸となり、業務推進に指導力を発揮している。そして経営や業務の効率化を常に念頭に置きながら園の運営にあたっている。	
改善できる点/改善方法：	

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 経営状況の把握

Ⅱ-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1)-① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。		Ⓐ・B・C
Ⅱ-1-(1)-② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている。		Ⓐ・B・C
Ⅱ-1-(1)-③ 外部監査が実施されている。		Ⓐ・B・C
良い点/工夫されている点： 保育関係の動向については、各種専門誌の購読により、情報収集している。また各種研修等の受講や市担当課、関係機関、地域団体との連携を通じて情報収集に努め、全職員に周知を図っている。行		

事等での保護者アンケート、懇談会、保護者役員会での意見聴取や園庭開放、子育て支援事業等の実施を通して保護者や地域の子育てニーズの把握に努めている。保育所経営については消耗品の計画的購入と廃材利用など節約を行い、予算の効率的な執行と適正な保育所運営に努めている。
改善できる点/改善方法：

Ⅱ－２ 人材の確保・養成

Ⅱ－２－（１） 人事管理の体制が整備されている。	第三者評価結果
Ⅱ－２－（１）－① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅱ－２－（１）－② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>人事管理は市に裁量権があるが、人材のプランを事前に市へ状況報告・要求することで、適切な人材確保に努めている。</p> <p>人事考課は市のマニュアルに基づき、評価が行われている。目標管理制度を導入しており、年に３回フィードバック面接を行い、思いや意見などを汲み上げ、日頃、上司が気付いている事や期待することなどを伝える機会とするとともに面談を通して評価し、職員の資質の向上を図っている。</p>	
改善できる点/改善方法：	
Ⅱ－２－（２） 職員の就業状況に配慮がなされている。	
Ⅱ－２－（２）－① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅱ－２－（２）－② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>職員の有給休暇の消化率や勤務状況をチェックし、有給休暇を職員が積極的に取得できるよう職員の意向を取り入れながら、運営状況に合わせた職員配置に留意しつつ勤務表を作成している。職員が相談しやすい職場環境の整備に心がけている。市において各種厚生福利事業及び健康増進事業を実施している。</p>	
改善できる点/改善方法：	
Ⅱ－２－（３） 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	

II-2-(3)-①	職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	Ⓐ・B・C
II-2-(3)-②	個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。	Ⓐ・B・C
II-2-(3)-③	定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 個別の職員に着目した研修の年間計画が策定され、その中で、職位別研修等、様々な外部研修が実施されている。また、参加した外部研修について復命書の提出や職員会議等での伝達講習を通して職員全体に周知している。園内研修については、事例研究、公開保育その他各種研究会を実施し、職員の資質向上に努めている。</p>		
改善できる点/改善方法：		
II-2-(4) 実習生の受入れが適切に行われている。		第三者評価結果
II-2-(4)-①	実習生の受入れと育成について基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、積極的な取組をしている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 実習生の受け入れについては、実習受け入れマニュアルを整備し、担当者を決めて受け入れ体制を整えている。各種養成校と連携しながら、事前のオリエンテーション、実習後のカンファレンスや感想レポートを分析し、次年度の受け入れに反映させている。実習生の記録には、必ず担任や園長からコメントを書きこんでいる。</p>		
改善できる点/改善方法：		

II-3 安全管理

II-3-(1) 利用者の安全を確保するための取組が行われている。		第三者評価結果
II-3-(1)-①	緊急時（事故、感染症の発生時など）における利用者の安全確保のための体制が整備されている。	Ⓐ・B・C
II-3-(1)-②	災害時に対する利用者の安全確保のための取組を行っている。	Ⓐ・B・C

II-3-(1)-③ 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>怪我・事故・感染症・災害等の緊急時に対応する各種マニュアルを整備している。マニュアルに則り、感染症蔓延の時期には保護者に掲示板やメールで注意喚起している。毎月、避難訓練を行い、年に1回は消防署の立会いのもと行っている。地域住民の避難場所にもなっており、毛布やヘルメット、防災ラジオなどの備えがある。遊具による怪我がないように月に2回、点検を行っている。お散歩マップを作成し、園外保育の危険個所について職員間で共有している。またヒヤリハット事例を収集し、会議等で検討し、情報の共有化を図っている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

II-4 地域との交流と連携

II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	第三者評価結果
II-4-(1)-① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	Ⓐ・B・C
II-4-(1)-② 事業所が有する機能を地域に還元している。	Ⓐ・B・C
II-4-(1)-③ ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	A・Ⓑ・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>日頃の保育の中でも、散歩やジョギングなど園外に出かけるようにしている。近隣の福祉施設との交流や夏祭りや文化祭、芋ほりなどの行事を通じて地域との関わりを持っている。また、園庭開放の日を設け、遊びに来てもらっている。紙芝居の読み聞かせなどの定期的なボランティアや行事の際には実習生や地域から不定期でボランティアの受け入れができています。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p> <p>ボランティア受け入れの意義や対応方法などを明確にしたマニュアルを作成し、地域の拠点施設として地域からの受け入れの拡充に向けた取り組みに期待したい。</p>	
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。	
II-4-(2)-① 必要な社会資源を明確にしている。	Ⓐ・B・C
II-4-(2)-② 関係機関との連携が適切に行われている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>各関係機関との連絡先を明文化し、職員会議等を通じて職員周知を徹底している。関係機関、団体との連携が適切に行われ、情報交換の機会を設けている。例えば評議員会には地域</p>	

<p>の役職者や小学校長などを役員として、年に4回開催され、地域で開かれている子育て連携会議や民生児童委員なども参加する青少年育成会議などには園長が出席し連携を図っている。</p>
<p>改善できる点/改善方法：</p>

<p>Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。</p>	<p>第三者評価結果</p>
<p>Ⅱ-4-(3)-① 地域の福祉ニーズを把握している。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
<p>Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
<p>良い点/工夫されている点： 地域の福祉ニーズの把握については、地域で開かれている子育て連携会議や民生児童委員なども参加する青少年育成会議などに園長が出席したり、体験入園などの際には相談窓口を設けたりして福祉ニーズの把握に努めている。また、延長保育や乳児保育、園庭開放など、ニーズに応じて実施している。</p>	
<p>改善できる点/改善方法：</p>	

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

<p>Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。</p>	<p>第三者評価結果</p>
<p>Ⅲ-1-(1)-① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
<p>Ⅲ-1-(1)-② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
<p>良い点/工夫されている点： 「子どもの最善の利益を考慮しその福祉を積極的に推進する」という利用者尊重、利用者本位の理念を明示し、日吉幼稚園経営構想の中で、めざす子ども像として「ひとり一人の友達の良さが認められる子」と明文化して個性や文化の違いを認め合い、思いやり・優しい心を育てる保育を大切にしている。 トイレ等園児のプライバシーについて設備面の配慮がなされている。個人情報の記録の取り扱いやセキュリティ研修に参加し、職員のセキュリティ意識を高めている。個人情報の記録管理については園長監督のもと厳重に管理されている。</p>	

改善できる点/改善方法：		
Ⅲ－１－（２） 利用者満足の上昇に努めている。		
	Ⅲ－１－（２）－① 利用者満足の上昇を意図した仕組みを整備し、取組を行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
良い点/工夫されている点： 利用者満足やニーズの確認のため、アンケートを行事の後に実施している。アンケート内容については、意見や回答、改善点などを保護者に公表している。アンケートは記名方式だが、全員の提出があり、様々な意見があり、可能な限り要望に応じている。また保護者懇談会での話し合いや日々の送迎時の声かけ等の取組を通して保護者の意向をくみ上げ、その都度対応を行う等、利用者満足の上昇に向けた取組を行っている。		
改善できる点/改善方法：		
Ⅲ－１－（３） 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
	Ⅲ－１－（３）－① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅲ－１－（３）－② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅲ－１－（３）－③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
良い点/工夫されている点： 第三者委員や苦情の窓口、担当者等の資料を作成し、年度初めに保護者に周知している。また相談解決の流れについてもわかりやすいポスターを玄関先に掲示している。来園時や退園時には、保護者ひとりひとりと必ず会話を交わし、些細な意見でも聞けるようにしている。意見、苦情には迅速に対応する仕組みがある。		
改善できる点/改善方法：		

Ⅲ－２ サービスの質の確保

Ⅲ－２－（１） 質の向上に向けた取組が組織的に行われている。		第三者評価結果
	Ⅲ－２－（１）－① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅲ－２－（１）－② 評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>サービスの質の向上に向けた取り組みとして、第三者評価を活用するとともに、市独自の取り組みとして、職員による自己評価や評議員による評価が行われている。評価を実施し、改善方法を職員会議等で検討して改善策の実施状況について見直しを行う等、一連のPDCAサイクルの継続により保育サービスの質の向上へ向けた取り組みを行っている。</p>		
改善できる点／改善方法：		

Ⅲ－２－（２） 提供するサービスの標準的な実施方法が確立している。		第三者評価結果
	Ⅲ－２－（２）－① 提供するサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅲ－２－（２）－② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>個々のサービスの標準的な実施方法については、各種マニュアルを作成し、職員会議等で周知努めている。標準的な実施方法（保育課程）については理念・基本方針に基づき、保護者の意向を踏まえて、指導計画を策定し、職員会議等で子ども一人ひとりの個別指導記録から実施についての評価・見直しを行っている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ－２－（３） サービス実施の記録が適切に行われている。		
	Ⅲ－２－（３）－① 利用者に関するサービスの実施状況の記録が適切に行われている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅲ－２－（３）－② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ

<p>Ⅲ－２－（３）－③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。</p>	<p>Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
<p>良い点／工夫されている点： サービス実施の記録については、個別指導記録に子ども一人ひとりの発達の経過状況や生活状況等が記録されている。 記録の管理体制については、鍵がかかる保管庫において厳重に保管・管理され、市の規程に基づき、記録の保管、保存、廃棄を行っている。個人情報保護に関する研修や記録法についての研修に参加し、伝達報告等職員周知を図っている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

Ⅲ－３ サービスの開始・継続

<p>Ⅲ－３－（１） サービス提供の開始が適切に行われている。</p>	<p>第三者評価結果</p>
<p>Ⅲ－３－（１）－① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。</p>	<p>Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
<p>Ⅲ－３－（１）－② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。</p>	<p>Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
<p>良い点／工夫されている点： 入園案内のパンフレットや市のホームページで情報の提供をしている。市のホームページは各事業所の情報が比較して見られるよう工夫されている。 保護者からの問い合わせには丁寧に説明し、入園前の見学や体験希望にも随時対応している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>Ⅲ－３－（２） サービスの継続性に配慮した対応が行われている。</p>	
<p>Ⅲ－３－（２）－① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。</p>	<p>Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
<p>良い点／工夫されている点： 卒園児については、入学する小学校に保育所児童保育要録を送付し、子どもの育ちの継続が保障されるようにしている。また保育修了時にその後も相談が可能であることを説明し、サービスの継続性に配慮した対応を行っている。</p>	

改善できる点／改善方法：

Ⅲ－４ サービス実施計画の策定

Ⅲ－４－（１） 利用者のアセスメントが行われている。		第三者評価結果
	Ⅲ－４－（１）－① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>利用者のアセスメントについては、市で統一された様式（家庭状況、成育歴、心身状況等）を使用して決められた手順に従ってアセスメントが行われている。入園前は、家庭調査表により、アセスメントし、個別記録票に記載している。入園後の子ども一人ひとりのニーズや課題は、保護者からの書面、懇談会、送迎時、連絡帳等で把握している。</p>		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ－４－（２） 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。		
	Ⅲ－４－（２）－① サービス実施計画を適切に策定している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅲ－４－（２）－② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>サービス実施計画の策定については、理念や基本方針、園経営構想などを踏まえ、アセスメントに基づいて子どもの発達状況、子ども一人ひとりのニーズ、保護者の実態や課題を明確にし、保護者の意向を踏まえて、職員会議で検討し、指導計画を作成している。気になる子に対しては「CLM（あすなる学園様式）」を活用し、適切な保育を行っている。１年を通して行うクラス経営案を作成し、学期ごとに振り返り、見直しを行っている。</p>		
改善できる点／改善方法：		

評価細目の第三者評価結果 (児童分野 保育所)

評価対象Ⅳ 保育所保育の基本

Ⅳ－１ 養護と教育の一体的展開

	第三者評価結果
Ⅳ－１－（１）保育所の保育の方針や目標に基づき、発達過程を踏まえ、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した保育課程を編成している。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 保育課程は保育の理念、基本方針、保育所の目標に基づいて編成され、異年齢交流を中心に各年齢の指導計画が策定されている。内容についても具体的に援助と教育面が詳しく明記されている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
Ⅳ－１－（２）乳児保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	A・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 乳児保育は実施されていないので非該当項目である。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
Ⅳ－１－（３）１・２歳児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 未満児に関しては、子どもの人数に対して保育室のスペースが広くないので、遊戯室を利用したり、戸外遊びを積極的に行っている。年長児が訪れて遊び相手になったり、以上児の部屋に行き、一緒に遊ぶ等して相互に親しみが持てるようになっている。保護者も協力的で送迎時や連絡帳で情報交換が密に行われている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
Ⅳ－１－（４）３歳以上児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 豊かな自然を活かした異年齢保育活動を通して基本的な生活習慣の確立や基本的な態度を身につけることができるよう保育実践に努めている。園庭が広く、思いきり遊ぶことができるので、その中で目標を持ち積極的に取り組む姿が見られる。毎朝行われているマラソンは、年齢に応じて場所や目標を決めて挑戦している。園近くには昆虫や小動物が多く、自然観察の大切な場になっており、その中で豊かな感性や生命の尊さ等を学ぶ機会となっている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
Ⅳ－１－（５）小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者とのかかわりに配慮されている。	(A)・B・C

<p>良い点／工夫されている点： 年に数回、小学校と授業交流を行っている。例えば夏季には小学校のプールを利用したり、ドッジボール交流、5歳児と5年生の歯みがき交流を行っている。就学前には半日入学体験する機会を設けている。保護者には小学校との活動を報告している。また幼児園研究会には小学校教諭にも参加してもらい、園の様子や子どもたちを知ってもらう機会になっている。</p>
<p>改善できる点／改善方法：</p>

IV-2 環境を通して行う保育

	第三者評価結果
<p>IV-2-（1）生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできるような人的・物的環境が整備されている。</p>	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 木造平屋建てで、保育室、遊戯室は広くゆったりとして温かみのある環境である。どのクラスも少人数で安心して自由に遊び、集中できるよう配慮されている。山や畑に囲まれ、一年を通して自然物に触れて遊ぶことができる。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>IV-2-（2）子どもが基本的な生活習慣を身につけ、積極的に身体的な活動ができるような環境が整備されている。</p>	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 未満児は基本的な生活習慣が習得できるよう綿密に指導計画を策定し、以上児はその確立を目指して年齢や発達に合わせて実施している。子どもの自主性を尊重し、一人ひとりの発達に合わせた支援を行っている。戸外での遊びや身体活動が豊富にあるので、自分のしたい遊びを楽しむことができる。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>IV-2-（3）子どもが主体的に活動し、様々な人間関係や友だちとの協同的な体験ができるような人的・物的環境が整備されている。</p>	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 指示待ちではなく、子どもが積極的に活動できるよう「ひよっ子タイム」と称して年長児の当番の子が朝の会に一人で放送当番をする等、子どもが活躍する場面を設定している。またコマ回し、ホッピング、竹馬、一輪車等の遊具に挑戦することで困難に立ち向かっていくたくましさと友だちとの遊びの中で協調性を身につけている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>IV-2-（4）子どもが主体的に身近な自然や社会とかかわれるような人的・物的環境が整備されている。</p>	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 自然に恵まれているので、園外散歩を行い、木の実を拾ったり花を摘んだりして作品作りを行ったり、生き物の観察や小動物の飼育をしたりしている。地域に開かれた園作りを目指し、行事には地域の人々の参加を呼びかけている。地域と一緒に行事(夏祭り、運動会、文化祭、高齢者施設の豆まき参加等)が多く開催され、地元の人々とふれあう機会も多い。園庭の畑作りには地元の人たちの</p>	

協力をいただいている。	
改善できる点／改善方法：	
IV-2-(5) 子どもが言葉豊かな言語環境に触れたり、様々な表現活動が自由に体験できるような人的・物的環境が整備されている。	(A)・B・C
良い点／工夫されている点： 子どもたちが主体的に遊び、活動できるようクレヨン、絵の具等材料や道具等が準備されている。またボランティアによる読み聞かせがあったり、紙芝居を鑑賞したりしている。表現活動の発表の場としては年長児が毎朝交替で放送当番をしたり、文化祭で絵を展示したり、高齢者施設で歌や楽器演奏を披露している。	
改善できる点／改善方法：	

IV-3 職員の資質向上

IV-3-(1) 保育士等が主体的に自己評価に取り組み、保育の改善が図られている。	第三者評価結果
	(A)・B・C
良い点／工夫されている点： 「自己評価ガイドライン」を踏まえて、自己評価表を作成している。次年度に向けて課題を明確化し、改善に向けた取り組みに努めている。目標管理制度を導入しており、年度当初に目標設定をし、半期に1度、園長と面談し、助言をもらい、見直しを行っている。	
改善できる点／改善方法：	

評価対象V 子どもの生活と発達

V-1 生活と発達の連続性

V-1-(1) 子ども一人ひとりを受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われている。	第三者評価結果
	(A)・B・C
良い点／工夫されている点： 小規模でアットホームな幼稚園であり、職員は子ども一人ひとりを理解し、尊重することができている。ゆとりを持って子どもの気持ちを受けとめ、優しい言葉がけに努めている。	
改善できる点／改善方法：	
V-1-(2) 障害のある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	(A)・B・C
良い点／工夫されている点： 支援が必要な子に対して、保健センター等関係機関と連携し、情報や助言を受け、保育に活かしている。気になる子や支援が必要になる子に対しては思いやりを持ち、「良さを認め合う」という気持ちで接するよう子どもたちに伝えている。その結果、子ども同士で育ち合いができており、皆が自己肯定感や自信がもてる姿があるとのことである。気になる子や支援が必要になる子について、指導計画	

<p>の中に配慮が必要である旨の記載をし、職員間で情報共有している。保護者とも送迎時の日常的なやりとりや個人面談、連絡帳を通して情報交換や支援を行っている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>V-1-(3) 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。</p>	<p>(A)・B・C</p>
<p>良い点／工夫されている点： 長時間保育を利用する子どもが少ないので、ゆったりと異年齢交流し、過ごしている。長時間保育の計画も作られており、延長保育の担当者と担任との情報交換も密に行い、保護者に子どもの様子を確実に伝えるよう努めている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

V-2 子どもの福祉を増進することに最もふさわしい生活の場

<p>V-2-(1) 子どもの健康管理は、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。</p>	<p>第三者評価結果 (A)・B・C</p>
<p>良い点／工夫されている点： 健康管理に関するマニュアルが整備されている。送迎時の保護者からの聞き取りや連絡帳で状態を把握し、一人ひとりの健康について観察して毎朝の朝礼で病気や怪我について報告し、職員間で情報共有に努めている。発熱に関しては37.5度を目安に保護者に連絡する等して対応している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>V-2-(2) 食事を楽しむことができる工夫をしている。</p>	<p>(A)・B・C</p>
<p>良い点／工夫されている点： 給食が楽しい場となるよう、食事の時間帯は音楽を流している。放送で子どもがメニューを紹介したり、3～5歳児は仲よしチームを作り、食事を一緒にして楽しんでいる。年長児は栽培した野菜を使用してカレークッキングやさつまいもクッキングを行ったり、園の畑で収穫した野菜(じゃがいも、なす、きゅうり、おくら等)を全園児で味わっている。クリスマス会やひな祭り会、お別れ会は全員で会食をしている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>V-2-(3) 乳幼児にふさわしい食生活が展開されるよう、食事について見直しや改善をしている。</p>	<p>(A)・B・C</p>
<p>良い点／工夫されている点： 市内幼稚園統一の献立表があり、地元の商店から旬の野菜を仕入れて、調理を行っている。日頃から調理員と交流があり、喫食状況等伝え、定期的な残食調査も行われている。手作りおやつは週1～2回提供している。勤労感謝の日には子どもたちが手づくりのプレゼントを調理員さんに感謝をこめて手渡している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

V-2-(4) 健康診断・歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 健康診断・歯科健診は年2回実施しており、結果を保護者に通知し、必要に応じて受診結果を確認している。保護者には園だよりで健診結果や健康予防についての情報を載せ、健康知識を伝えている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

V-3 健康及び安全の実施体制

V-3-(1) アレルギー疾患、慢性疾患等をもつ子どもに対し、主治医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	第三者評価結果 (A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 保護者に献立表を渡し、チェックしてもらい、食材除去確認表を作成している。当日の朝礼で除去食や代替食を確認し、間違いがないよう読み上げ、対応している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
V-3-(2) 調理場、水周りなどの衛生管理が適切に実施され、食中毒等の発生時に対応できるような体制が整備されている。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 市内統一の給食衛生管理取り扱い基準、従事者の衛生管理点検項目等があり、それらに従って実施している。給食従事者専用休憩室やトイレ、出入り口等は独立した建築構造になっており、衛生面に配慮している。衛生管理マニュアルが整備されており、食中毒等の研修に全職員が参加する等して、周知を図っている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

評価対象VI 保護者に対する支援

VI-1 家庭との緊密な連携

	第三者評価結果
VI-1-(1) 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 保護者には「早寝、早起き、朝ご飯」を目標に掲げ、呼びかけている。そのため、朝食抜きや孤食の家庭はないとのことである。園での栽培した野菜を食べる効果は大きく、旬の野菜や栄養についても関心を示し、家庭でも「食べること」について会話が弾むとのことである。毎年6月の保育参加で給食試食会を実施しているが、保護者には好評であり、また「食育だより」も充実した内容となっている。今後、毎月1回の給食展示の回数を増やし、食材の産地や栄養素など保護者に食育の情報を伝えて行く取り組みに期待する。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
VI-1-(2) 家庭と子どもの保育が密接に関連した保護者支援を行っている。	(A)・B・C

<p>良い点／工夫されている点： 年2回、個別懇談を実施し、懇談会の内容は個別記録に記録している。育ちを確認し合い、共通の理解を得る機会となっている。保護者との信頼関係は良好で送迎時のコミュニケーションや連絡帳で情報交換を行っている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>VI-1-(3) 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けている。</p>	<p>(A)・B・C</p>
<p>良い点／工夫されている点： 保護者とは日常的な対話や懇談会の他、各行事等に保育参加してもらうことにより共通理解を図るように取り組んでいる。小規模の幼稚園であるので、保護者とのコミュニケーションも取れており、園長はいつでも子育てに関する相談を受け入れている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>VI-1-(4) 虐待に対応できる保育所内の体制の下、不適切な養育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び虐待の予防に努めている。</p>	<p>(A)・B・C</p>
<p>良い点／工夫されている点： あてはまる子がいないが、虐待対応マニュアルを整備し、子どもと保護者の日頃の変化を読み取り、日常生活や言動等の状態について観察、見守りを行っている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

評価対象Ⅷ 個別サービス着眼点（岐阜県独自項目）

Ⅶ-1 安全管理面でのサービス

	<p>第三者評価結果</p>
<p>Ⅶ-1-(1) 外部からの侵入に対する対応策がとられている。</p>	<p>(A)・B・C</p>
<p>良い点／工夫されている点： 2ヶ月に1回、防犯訓練を実施している。緊急時は警察につながる回線があり、セキュリティ会社とも契約もしており、緊急時の通報体制は確立している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

Ⅶ-2 保護者とのコミュニケーション

	<p>第三者評価結果</p>
<p>Ⅶ-2-(1) 保護者の保育参加を促すような工夫をしている。</p>	<p>(A)・B・C</p>
<p>良い点／工夫されている点： 年間行事計画は4月に配布しており、積極的に参加を促している。地域の特性もあり、保育参加にも積極的で、園活動にも協力的な家庭が多い。</p>	

改善できる点／改善方法：	
VII-2-(2) 保護者会組織等への活動の援助や意見交換を行っている。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保護者会主催の母親学級が年2回開かれる他、お茶会で子育てについて話し合ったり、食事会をする等保護者同士が交流する機会が多い。保護者会は運動会等の行事のお手伝いや記念品の用意をする等、園運営に積極的に関わっている。保護者会はまとまりも良く、父親も積極的に関わっている。</p>	
改善できる点／改善方法：	

VII-3 保育所・幼稚園・小学校との連携

	第三者評価結果
VII-3-(1) 保育所・幼稚園・小学校との連携した取組を行っている。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>夏祭り等地域行事では当園や小学校等含めて出し物をしたり、文化祭では中学生が進行役を行い、盛り上げたりする等、子どもから大人まで含めた地域交流が行われている。</p>	
改善できる点／改善方法：	